

平成 27 年度 田平町地域協議会 6 月臨時会会議録

- 1 . 会 場 田平支所 3 階会議室
- 2 . 日 時 平成 27 年 6 月 11 日 (木) 14 時 00 分開会
- 3 . 出席委員 久原鐵男委員、岡斉委員、中西正人委員、中村正利委員、
吉福弘実委員、長田康志委員、松本一郎委員、永井正則委員、
須藤豊博委員、安田豊委員、針尾郁子委員、小田浩吉委員、
手島りつ子委員、針尾幸一郎委員
- 4 . 欠席委員 早田博子委員
- 5 . 職 員 山口龍一郎田平支所長、森川祐輔地域振興課長、
立石哲也地域振興課参事監、今村達也市民協働班長、
松本哲朗産業建設班長、百枝史朗教育委員会田平分室長
千代延貴史地域振興課主査
- 6 . 議事録署名人 吉福弘実委員、小田浩吉委員
- 7 . 傍聴人の数 4 人
- 8 . 審議案件等の概略及び審議結果

14 時 00 分 開会

- (1) 開会
- (2) 支所長挨拶
山口支所長挨拶
- (3) 会長挨拶
久原会長挨拶

事務局

会議を進めていきますが、地域協議会の運営等に関する規則第 2 条の規定によ

りまして、議長は会長にお願いいたします。

会長

それでは、審議に入ります前に、本日の出席委員数は、15名中13名の出席で、地域自治区の設置に関する協議書第9条の規定により半数以上の出席がありますので、会議が成立していることを宣言いたします。なお、早田委員から欠席の届けと、永井委員から遅刻の届けがあります。続きまして議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は吉福弘実委員、小田浩吉委員を指名いたします。

(4) 議事

会長

それでは、会議次第にそって会議を進めてまいります。4番の審議事項に入ります。それでは、審議事項の(1)やらんば市民活動サポート事業補助金につきまして、前回の会議におきまして審査保留といたしました平成27年度やらんば市民活動サポート事業補助金事業審査、「総合型クラブたびスポ事業」について、事務局の説明を求めます。

事務局

平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金審査要領を説明

会長

ただいま、審査の方法、流れについて事務局より説明がありましたが、これについて何か質問はありませんか。ないようですので、それでは審査に入ります。総合型クラブたびスポの入室をお願いします。「総合型クラブたびスポ事業」について申請団体であります総合型クラブたびスポからの説明をお願いします。時間配分では10分を説明、10分を質疑応答にします。それでは、説明をお願いします。

総合型クラブたびスポ

前回の会議の折に当クラブの提出書類の不備があった件に対しましてお詫びいたします。それから再審査の場を与えていただいたことに大変感謝しています。早速ですが説明いたしますが、前回の審査の際の説明と重複するところがあるかとは思いますが、重点もありますのでご了承いただきたいと思っております。まず総合型地域スポーツクラブについて若干説明させていただきます。総合型地域スポーツクラブは住民が主体となって地域の実情に応じたクラブ運営を行うスポーツクラブの形態です。日常生活圏である概ね中学校区を単位といたしまして、設置が進められているところです。総合型地域スポーツクラブには多世代、多嗜好、多種目とい

った三つの特徴を持っています。多世代というのは、子供から大人まで年齢に関係なく活動ができるということです。多嗜好というのは、スポーツをする際に勝ちたいとか、うまくなりたいとかそういった人もいれば、心身のリフレッシュのために健康の維持のためにスポーツをする人もいます。それぞれの嗜好に合わせた活動の場が提供されているということです。多種目というのは、複数の種目が用意されているということです。以上のことについて、地域住民が主体的に運営をしまして受益者負担が原則ですので、活動に参加する人が会費や参加費を負担しながらクラブ運営を行っていきます。地域のスポーツ振興だけではなく、人づくり、地域づくり、そういったものに貢献できる公共性の高いクラブとされています。私達がこのクラブを始めようとするきっかけになったのは、メンバーのほとんどが育成会活動、少年スポーツの指導、またはその保護者であるとか、そういった関係で子供達のスポーツに携わっていたというところです。皆様ご承知のとおり田平地区でも少子化は著しくスポーツをする子供達も大幅に減ってきている現状があります。団体競技においては、近い将来チームの存続も危ない状況です。それに加えて、子供達の体力低下や競争意識の低下が非常に見受けられるところです。私達親として、また将来この田平を託すものとして、これは非常に問題ではないかという話から、スポーツを通して健康で元気に子供達が成長できる環境を作って行きたい。またそのことが地域全体がもっと元気になり地域の活性化に繋がって行くのではないかということで、そういった思いからこの活動を始めました。クラブの設立を準備する中で、小学校を通して子供達にアンケート調査を行ったところ、小学生で約3割の子供しかスポーツ活動に参加していないということが分かりました。皆様もスポーツをされている方々ですので、ご承知のことだと思いますが、スポーツは地域住民の交流や世代を超えた交流を生んだり、また人が健康になったり、心身のリフレッシュが図れるなどスポーツの効果は非常に大きいものがあります。そのスポーツを起爆剤にしてまちづくりをしたいというのが私達の考えです。私達が活動する中でスポーツが人もまちも元気になりたい、スポーツで笑顔輝くまちづくり、ということのスローガンに掲げて活動しています。現在の主な取り組みについては、お手元の資料に記載しておりますのでご覧いただきながら、まず低学年向けに遊び感覚でスポーツに親しんでもらうためスポーツ教室を開催しています。また高いレベルを目指したい子供達もいますので、トップアスリートである元オリンピック選手を毎月2回招いてスポーツ塾を開いています。平成27年度のためスポ事業計画書を追加配布させていただいておりますので、こちらも併せてご覧いただきたいと思えます。成人向けの教室としましては、気軽に運動してもらうことを目的にヨガ教室、ストレッチ教室を開催しています。他にも世代間交流や地域の交流を図るため、ソフトバレーボール交流大会や三世代グランドゴルフ大会、ウォーキングなどの活動を行っています。各教室とも大変ご好評をいただい

ておりまして、毎回多くの参加をいただいているところです。先月開催しましたソフトバレーボール交流大会では、若い方 20 代の方から 70 代の方まで男女問わず 100 名を超える方の参加がありまして、とても良い交流ができたところです。お手元の事業計画書並びに教室の日程表を配布しておりますのでご覧いただきたいと思います。これだけの事業を現在行っているところです。この事業を運営するためには、クラブ運営のノウハウやスポーツに関する専門的知識を有する人材が必要になってきます。その基本的な研修となるのが日本体育協会が推奨しているアシスタントマネージャー養成研修です。この研修をできるだけ多くの運営スタッフに受けてもらい、担い手となる人材を育成していきたいと考えています。しかし、この研修は長崎県内では実施されていません。県外研修となりまして、その費用も高額にかかります。クラブとしても人材育成のための必要な研修であるため、費用を出して多くの人に受講してもらいたいと考えていますが、クラブ自体もそれだけの資金力がなく、今回の補助金に頼らざるを得ない状況です。将来的には常勤のスタッフを置き運営を行っていきたくと考えています。その土台となる人材育成を 3 年間でぜひ行っていきたくと考えているところです。お蔭様で今年度は日本スポーツ振興センターより人件費の補助を受けることとなりました。しかし、この補助金も全額の補助ではなくクラブの負担もあります。しかもこの補助金については、最長 5 年間しか受けることができません。その間に自主財源でスタッフを雇用できる仕組みを作りまして、持続可能なクラブ経営に繋げて行きたいと考えているところです。たびスポがこの地域で自立した運営を行い、田平に貢献できる団体として育って行けるよう皆様方から見守っていただければと思っています。私達が目指すものは地域活性化です。私達が活動することにより、人が健康になり、高齢者が元気になり、子供達の笑顔が増え、地域全体がこれから先ずっと元気であることを願っています。たびスポの活動をぜひご理解いただき見守っていただければ幸いです。以上で説明を終わります。

会長

説明が終わりましたので、質疑に入ります。ご質問ございませんか。

委員

全体事業の収支予算の支出の件でお尋ねします。賃金 994,000 円組んでありますが、これは toto の方から来るようになってますけど、クラブマネージャーが 604,800 円、サブマネージャーが 388,800 円となっております。これは何人で一人当たり月に何時間くらい活動して支払うのかお尋ねします。

総合型クラブたびスポ

クラブマネジャーとサブマネジャーは、たびスポの中での役職名です。クラブマネジャーが一人、もう一人がそれを補佐するサブマネジャーが一人います。二人とも非常勤です。月に何時間くらいというわけではありません。大卒の一年間の予算でクラブマネジャーで576時間勤務を予定しています。それからサブマネジャーで432時間の勤務を予定しています。

委員

そのマネジャーはやらんば補助金で資格を取りに行くわけですが、これだけの賃金を支払うのであれば、個人で資格を取ればいい。公費で資格を取るのはいかなものかと思いますが。

総合型クラブたびスポ

今回申請させていただいた補助金でアシスタントマネジャーの講習を受けますが、全員働くわけではありません。もちろん今のスタッフというのはボランティアです。ボランティアでスタッフをするにあたっても基本的な知識としてアシスタントマネジャーの講習を受けていただいて、クラブの運営に携わってもらうというような考えですので、これを受けたからその人が雇われて人件費が払われるという、もちろんそういう人もいますが、全員が全員そういうわけではありません。

委員

全体的な事業の中で聞いたら、マネジャーが一人、サブマネジャーが一人、この賃金はその二人にしか払わない。この人たちがこの資格を取りに行くのではないのか。

総合型クラブたびスポ

一人はそうですが、一人はもう既に取っています。

委員

もう一人は去年この補助金で資格を取っている。だからこの補助事業で資格を取ってこれだけの給料をもらうのはいかがかとお尋ねしているのです。

総合型クラブたびスポ

この補助金を使った人みんな給料が出るというわけではありません。クラブを運営するためにこの講習を受けてもらうという考えでありますので、講習を受けた人に給料を払うという考えではありません。

委員

賃金ですが、給料としてなのか、ボランティア性を含んだものなのか、お尋ねします。

総合型クラブたびスポ

今年度からは賃金として給料として支払います。

委員

事務局にお尋ねですが、資格を取るために公費を使うわけですが、そういった事例はあるのですか。

事務局

事例は聞いたことはありませんが、資格を取るのに公費を使うことの可否の判断基準として、その資格がたびスポを運営するために必要な資格であるわけで、仕事の片手間に活動しているボランティアであり、個人の生活費のためではないということで、判断していただきたいと思います。

委員

本来は行政がやらなければならないことをたびスポにしてもらうことなど、そもそもの成り立ちを説明してください。

事務局

市がやらなければならないことをやっていただくのが委託事業なわけで、やらなければならない判断として、スポーツの振興と健康の促進、地域交流、これは行政の課題でもあるわけです。やらんばサポート事業もモデル事業もそもそも市がやらなければならないことを市民に委託している。そういう趣旨でありこれが協働のまちづくりなわけで、市と市民が協働でやりますと。その中に委託と補助の部分があるということです。

会長

他にご意見ございませんか。ないようでしたら質疑を終結いたします。総合型クラブたびスポの退室をお願いします。

それでは採点に入っていただきたいと思います。採点が終わりましたら審査表を回収させていただきます。集計につきましては時間を要しますので、それまで休憩といたします。

〔休憩〕

会長

それでは再開いたします。集計結果が出ましたので、事務局からの報告を求めます。

事務局

集計結果を報告します。評価点 22.6 点であり、補助事業者選定の基準点 18 点を満たしていますことを報告いたします。また、コメントとして、スタッフが一生懸命活動されているのはよく理解できます。ただ、他の社会体育団体に対して、公平なのかどうか、例えば、安全講習会などへの旅費など他のクラブは自己負担。地域づくり、まちの活性化に対して、公共性の高い事業。他に例のない事業なので期待しているが、利用対象者に偏りがないよう事業の周知、透明性をもって推進してもらいたい。会員名簿が町内に広く伝わっていないのでは。一部の組織の団体では、とのコメントをいただいていますことも報告いたします。

会長

ただいま、事務局から集計結果の報告がありました。平成 27 年度やらんば市民活動サポート事業補助金の 1 事業について、審査の結果、補助事業者選定基準を満たしていますので採択とします。また、その結果を市長へ報告し、審査結果を申請団体へ通知するとともに、採択された団体名、事業内容及び補助金額を公表いたします。以上で審議を終わります。

(5) その他

会長

次に 5 番その他でございますが、今回、新たに委員となられた方もいますので、「地域協議会に関する勉強」を行います。また、その後に委員同士での意見交換を予定しています。田平地区について、今後の課題や問題点など、何でも結構ですので意見交換をお願いします。例えば、前回の会議で説明がありました「新しいコミュニティ推進計画」について、田平地区としてどのようにかかわって行くのか、どのような方向に向かえばいいのかなど、活発な意見交換をお願いします。

〔意見交換〕

会長

最後に次回の会議ですが、8月4日(火)午後2時から田平支所で開催いたしますので、よろしく願いいたします。それでは、以上をもちまして、平成27年度田平町地域協議会臨時会を閉会いたします。お疲れ様でした。

16時00分 閉会

9. 会議録の公開・非公開 公開

10. 会議資料等の名称及び内容

平成27年度田平町地域協議会臨時会会議次第

平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金交付要綱

平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金審査要領

平成27年度やらんば市民活動サポート事業補助金交付申請に係る審査

11. 会議録の作成者の職氏名 平戸市田平支所地域振興課
主査 千代延 貴史

12. その他 この会議録は、地域協議会の運営等に関する規則第18条第2項の規定により、要点記録とする。

平成27年6月11日

会議録署名人 吉福 弘実

小田 浩吉